



高野校だより

舞鶴市立高野小学校
令和4年度学校だより
第2号
令和4年4月27日発行

校訓

至誠

進取

自治

協同

〒624-0832 舞鶴市高野台1-1
Tel 0773-75-0768 Fax78-3050
HP <https://takano-maizuru.edumap.jp>

新緑の若葉 風薫る

桜の季節は瞬く間に過ぎ、新緑の若葉を渡って吹いてくる風が心地よい、さわやかな季節を迎えました。子どもたちは入学、それぞれに進級をし、はやひと月が過ぎました。新しい学校生活にも慣れ、登校時には、「おはようございます。」の元気な声、気持ちのよいあいさつがひびき、学校の日が始まります。



登校の様子

4月24日(日)には授業参観・PTA総会・修学旅行説明会とご多用な折りにもかかわらず、多数のご参加をいただきありがとうございました。昨年度は、緊急事態宣言やまん延防止措置等により、学校での子どもたちの様子を見ていただく機会がとても少なかったです。今年度は年度初めに子どもたちの様子を見ていただく機会が持てたことをとてもうれしく思います。PTA総会においても熱心なご審議ありがとうございました。PTA活動が活発になることは、子どもたちのいきいきとした活動、学校の活性化につながります。保護者の皆様が、それぞれのお立場で、安心・安全、つながりづくり、行事の支援など子どもたちを中心にして活動していただくことで、学校は様々な力をいただけると感じています。また、家庭訪問もご多用の中お時間を作っていただき、ありがとうございました。短時間ではありましたが、担任が保護者の皆様と直接お話ができたこと、児童への理解を深めることができたことなど大変有意義な時間となりました。それぞれの立場で役割を見つめながらも、連携した取組を推進していきたいと思っております。今後ともご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

葉桜、新緑、万緑、若葉、青葉、新樹、風薫る……。この時期に使われる言葉です。晴れを表す言葉を挙げると、晴天、快晴、晴朗、好天、日本晴れ、澄晴、五月晴れなど、また雨を表す言葉は、大雨、小雨、春雨、村雨、時雨、梅雨、五月雨、桜雨など140以上あると言われています。春から夏に移りゆくこの季節に、日本語の美しさについて、自然の様子とも合わせながら今一度見直してみるのもよいのではないのでしょうか。国語の授業ではもちろん、様々な学習や活動でも日本語のよさや美しさに触れる機会を持たせたいと考えています。



咲き始めたツツジ

5月1日は「語彙の日」とされています。語彙を増やすことはコミュニケーションにおいても重要になりますし、生活を豊かにします。ではどうしたら語彙を増やすことができるのでしょうか。「言葉に触れる機会を増やす。」「知らない言葉をそのままにしない。(すぐに調べる)」「自分の考えを言葉で伝えようとする。」「本を読む。」などが挙げられます。また一つの事柄がいくつもの言葉で表現されるのも日本語の特徴ですので、上記のような言葉集めをしてみることで、楽しみながら語彙を増やせるかもしれません。また、5月27日は「百人一首の日」です。百人一首には、このあたりのことを歌ったものがあります。「大江山いく野の道の遠ければ……」「由良の門を渡る舟人かちをたえ……」などです。さらに、この季節のことを歌ったものもあります。「春すぎて夏きにけらし白妙の……」「いにしへの奈良の都の八重桜……」など。今から約800年前の人が作った古典ですが、百人一首に触れることで美しい古来の日本語を味わってみるのもよいのではないのでしょうか。

5月には修学旅行、遠足など子どもたちが楽しみにしている行事を控えております。新型コロナウイルスの感染状況は依然予断を許さない状況です。学校としては、感染対策を取りながら何とか実施する方向で考えております。保護者の皆様におかれましては、今までから感染防止対策にご協力いただきありがとうございます。引き続き、感染防止対策等へのご理解とご協力をお願い申し上げます。地域の皆様には、学校教育推進へのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



校長 材木 敏志 教職員一同